

ふるさと探訪

第13回 長福寺



北条にある長福寺は、弘安4(1281)年に元軍来寇に出陣した河野通有がこの役に戦没した彼我の霊を弔うため

に、弘安5年に自分の館を寺として創建しました。寺の西と北側に溝渠の跡、土塀には矢狭間があり、当時の豪族の館の面影を偲ばせています。



▲長福寺本堂



▶色あざやかな藤棚

長福寺の梵鐘は明治初年に京都東山の大徳寺門末守禅庵が廃寺になる際に、当時の住職が譲り受けたもので、昭和40年4月2日、県指定の文化財に登録されています。鐘身約90cm、口径約55cm、重量約187.5kgの青銅製で、胴

体の部分には見事な浮き模様があり、県下でも一番優美な鐘といわれています。また、境内の藤は、白・赤・紫の3色の花が咲くことで有名です。4月下旬から5月上旬にかけて、境内いっばいに甘い香りを漂わせ、訪れる参拝者を魅了しています。

■住所 北条655

TEL 0898-64-2404

■駐車場 あり

